

アクサ生命保険株式会社による「女性のためのマネーセミナー」

アクサ生命保険株式会社のファイナンシャルプランナーが、お金の基本とこれからの資産の作り方について、初心者向けに分かりやすく解説する無料のオンラインセミナーです。

低金利の時代に今までは違ってお金の積み立て方、「貯める」ことから「増やす」ことへのシフト、「年金」「イデコ」「保険」「資産形成」など、ファイナンシャルプランナーがお金に関する基本的な情報をご提供します。※商品の売り込みは一切いたしません。今回は**18才以上の女性を対象**に実施します。ご家庭の保険見直しのきっかけに、また、ご自身の金融リテラシーの向上にお役立てください。

FM MIKI 76.1MHz エフエムみっきい

【発行】(株)エフエム三木
〒673-0493 三木市上の丸町10-30
TEL:0794-86-0761 FAX:0794-86-1761
E-mail:761@fm-miki.jp
URL:http://www.fm-miki.jp/

特別番組のおしらせ

3/9 は「サンキュー」でいっぱいスペシャル
放送日時:3月9日(木) 午後3時から7時
パーソナリティ:さるとる(森田優)

3月9日、「サンキュー」というその語呂合わせから、「ありがとうの日」となっており、昨年は「ありがとう」を前面に押し出した特別番組を「みくらぢサンナナ」でお届けしました。今年の「サンキュー」は、「ありがとう」の「39」に合わせて、多くの方々から、それぞれの「39」を集めて番組をお届けします。

メッセージ募集中(エフエムみっきいHPから応募できます)

(1) ありがとうのメッセージ
(2) あなたの持っている39教えてください
※例) 生まれ年(3月9日/昭和39年/1939年)/結婚記念日/ナンバープレート/電話番号/カード番号…など

KIZUNA STATION
放送日時:3月11日(土) 13:00~16:00
出演:岡野美和子、大西貴文ほか

震災から12年が経過し、その年に生まれた子どもたちが12歳になります。日本の未来を担う子どもたちにインタビューを通して防災教育の大切さを伝えます。また、コロナ禍、戦争、円安、物価高など世界を揺るがす出来事の時代を生きなければならぬ世代の心境にスポットを当てていく特別番組。

【日時】**2023年3月29日(水)**(※各回とも約90分を予定)

1回目 10:30~12:00
2回目 13:30~15:00

※応募時に参加を希望される回をお選びください

【開催方法】**テレビ会議システム(ZOOM)を使用したオンラインセミナー**

※ZOOMアプリをお持ちの方は、簡単に参加が可能です。※お申し込み時に記入して頂いたメールアドレス宛にセミナー参加用のURLを送付します。

【講師】**植田幸久**
2級ファイナンシャルプランニング技能士
アクサ生命保険株式会社 神戸支社 東播営業所 所長
商工会議所共済・福祉制度担当

【司会進行】**中野綾子**
エフエムみっきいパーソナリティー

【募集人数】**各回15名程度** ※18歳以上の女性に限りです。

【参加費】**無料** ※各回の最後までセミナーを聴講された方には1000円分のギフトカードを進呈します。

【申込方法】エフエムみっきいHP内のフォームからお申込みください

QRコードはこちら →

※本セミナーはアクサ生命保険株式会社と株式会社エフエム三木(エフエムみっきい)が共同で開催します。参加者の受付、参加者情報の管理についてはエフエム三木が責任をもって行います。申込情報は本セミナーでのみ使用し、他の目的では使用いたしません。

バナー広告

会社紹介・イベント情報・求人広告などにご活用下さい。
※掲載サイズ・掲載期間などご相談に応じます。

お問合せ:株式会社エフエム三木
TEL:0794-86-0761
メール:761@fm-miki.jp

あなたの身体にあったオーダーメイド施術をご提供します!

Ken Shinkyuin 健針灸院

身体の不調などお気軽にご相談ください!
ご予約/0794-73-8827/予約優先
兵庫東三木市平田2丁目3-9
(三木コメダ珈琲店から徒歩1分!!)
ホームページ/https://www.ken-1189.com

お墓じまい
石碑1基8万円より~見積り無料!!

墓守がいなくなると、お墓は無縁墓になってしまいます。無縁墓にならない為に、墓じまいをしたいと考えている方が増えています。
お墓の解体・処分・遺骨の改葬はお墓の山石にご相談下さい。

信頼と実績 安心のお付き合い
お墓の山石 ☎ 0120-1482-77

さるとるの三木てくてくマップ 企画番組
放送時間:火10:00~/土23:15~ 【提供:三木市観光協会】

世界ギネスに登録されている E-ディフェンス

2月前半にお届けしたのは、E-ディフェンスでした。1995年1月17日の阪神淡路大震災では、建物や橋、道路など多くの構造物が倒壊しました。それまで、構造物が倒壊するなど考えられないことでした。2005年、これを契機に、構造物の破壊過程を調べるために、阪神淡路大震災で地震被害の少なかった三木市にE-ディフェンスが建設され、数々の各種実験が行われています。実験は、構造物などを300㎡(20m×15m)の振動台に載せて行われます。この振動台は、縦横上下(3次元)に振動させて地震を再現します。そして載せることができる構造物は、なんと1200トンまで可能なのだそうです。そして、この振動台は、国内のどの振動実験施設に比べても大きく、ギネス世界記録に登録されているのです。E-ディフェンスは聞いたことがあるし、振動実験は、テレビでもニュースなどで取り上げられているけれど、どんなところかご存じないという方が大勢おられるかもしれません。実は、物凄く開かれた施設で、事前申し込みはもちろん必要ですが、見学もできるのです。こんなすごい施設が三木にあるということを知っていただければと思います。是非、行ってみてください。



防災・減災レシピ 三木市危機管理課 推奨・後援 防災

先月6日トルコ南部で発生した巨大地震により死者が4万7000人を超える大惨事となり、今も大勢の被災者が避難生活を強いられています。今後40年以内に発生する確率が90%程度にも上るとされる南海トラフの巨大地震は、今回のトルコの地震と同様にプレート境界で起きるとされており、南海トラフを震源とする巨大地震だけではなく、活断層による直下型地震、大雨による洪水や土砂災害など、災害はある日突然自分の命、大切な家族の命、日々の暮らしを奪い去ってしまう可能性があります。だからこそ、その瞬間かけがえのない命を守るために、今、私たちに何ができるのか?そして、どう備えておくべきなのかを一緒に考え、できることから「自分で守る防災」を実践して頂ければ幸いです。

この度、新たなチャレンジに向けて40年勤務しました兵庫県職員を退職しました。3年ほど書かせていただいたこの連載も今回が最終回です。放送でも13年間防災の話をさせていただき、本当にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。



田中 健一
防災士
東京大学生産技術研究所リサーチフェロー
東京大学災害対策トレーニングセンター

玉之助見聞録 取材記

県道22号線沿い、線路脇のひっそり古墳

グリコの工場を背中に向けて線路向こう、住宅地に埋まる様に一つの古墳があります。住宅地よりも低い場所に鎮座するこの古墳。名前の表記も無く、真ん中に祠と石碑のみ。平日の昼間、閑静な住宅街なので、人もほとんど歩いていません。インターネット等で調べてもほぼ詳しい事や画像にも辿り着けず。そういえば、すっかり記憶の向こうでしたが、昔、「古墳が出た」という事で、長らく造成地のままだった場所があったのを思い出しました。こういう時の頼みの綱。玉之助見聞録では毎度お馴染み、その名も、みき歴史資料館!早速お話を伺いました。古墳の名前は野々池古墳群の野々池8号墳。古墳時代後期のものだそうです。かつてはいくつも古墳があったそうですが、時代と共にどんどん消えていったそうです。三木市の管轄では無いとの事。インターネット等で詳細がわからないのもうなずけます。みき歴史資料館さん、いつもありがとうございます。1人で散歩中の男性にお話を伺うと、伝え聞いているのは弁慶が石碑に腰掛けて握り飯を喰らったところだそうです。



人は悩ましく、面白い コラム

こんにちは。自由が丘の報恩寺住職・牧野仁と申します。第3水曜日10:25~人生相談、第2・4月曜日11:25~映画並びに映画音楽紹介をさせて頂いています。随分と方向性が違う番組内容ではありますが、両者には共通点があると思っています。それは、人がテーマであるということです。「煩惱」という言葉は、特定の欲望のように一般に使われますが、実は人の心の動き全てを指しています。人は、自己中心の心を基準とし、これに準じた言行を日々重ねています。その結果、身を「煩」わし、心を「悩」ますのです。あるお寺の掲示板に、人間みんな裁判官とありました。その通りで、自分の都合(私法)で他者を裁く、その自らを正しいとする裁判官が人の数だけいる。そう考えると人間関係の複雑さなどに「煩」わされ、心を「悩」ますのは自明とも言えます。その一方、人は「煩惱」で行動するからこそ、人らしいとも言えます。映画「ロスト・エモーション」の中では、この「煩惱」を人工的に抑制することで社会の平穏を保つという未来が描かれています。争いが起きない、平和、理想的な社会そのものように思えます。しかし、そこで無機質に生存する者を、果たして人と呼べるのか。喜怒哀楽、たとえ「煩惱」に基づいたものであっても、そこに涙し笑い生きることが人の証拠とも、人としての面白みとも言えるのです。人は、悩ましくもあり、一方喜びと感動に身を浸す面白さがあると思っています。

牧野 仁
浄土真宗本願寺派(西)報恩寺住職
報恩寺悩み事相談「トオチカ」 https://toochika.houonji.jp/
Youtube「報恩寺チャンネル」